

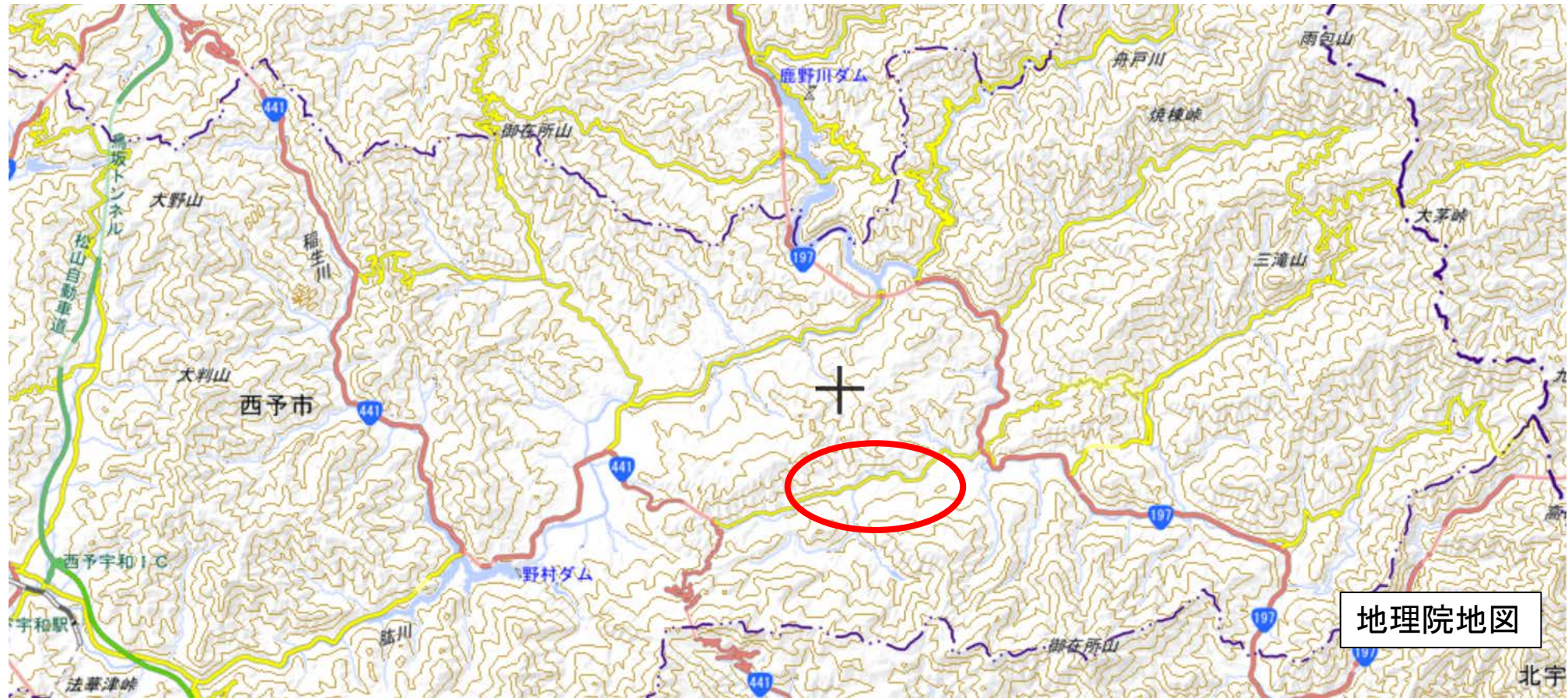
平成30年7月豪雨  
愛媛大学災害調査団

浸水痕跡調査

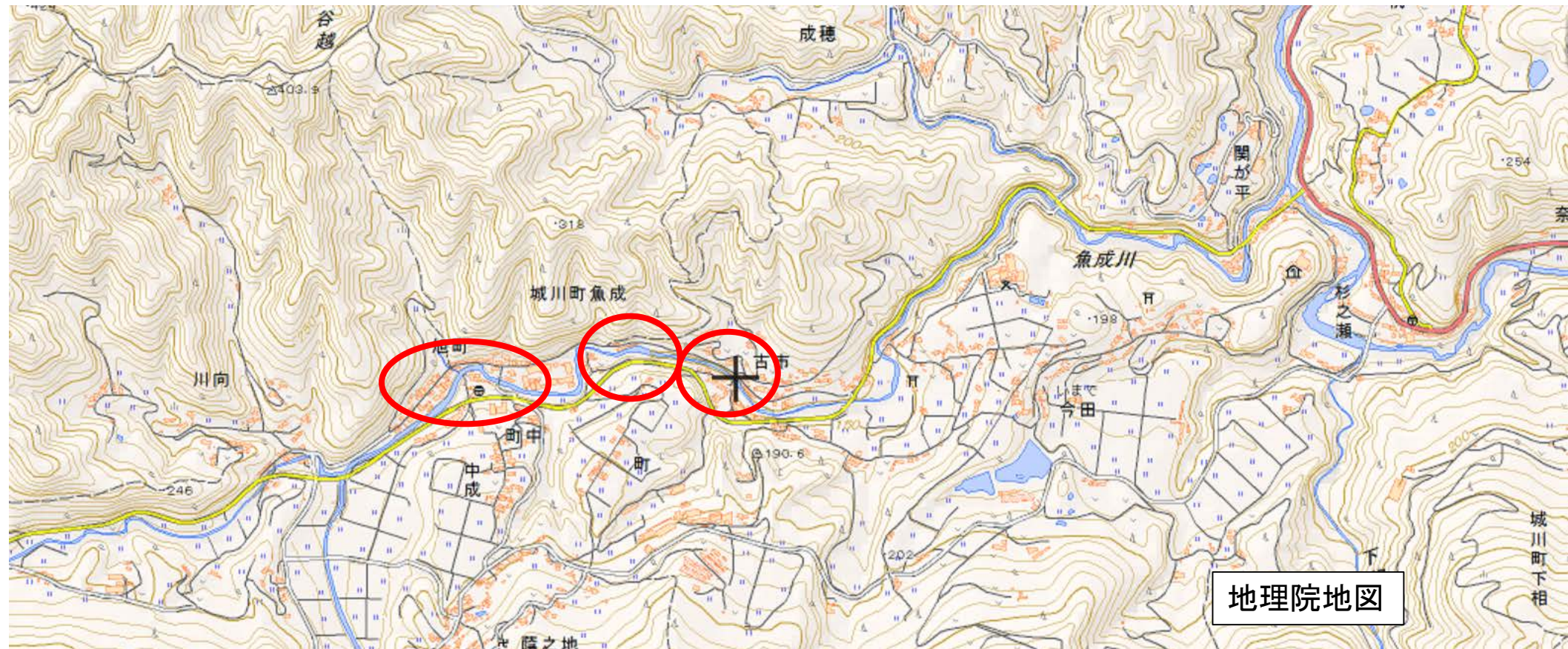
愛媛県西予市城川町 魚成川(黒瀬川の支流)

浸水深さ測定: 2018年7月13日 藤森祥文、森脇 亮、  
原田辰也 (学生)、浅岡佑亮 (学生)

調査箇所 愛媛県西予市西予市城川町 魚成川(黒瀬川の支流)



調査箇所 愛媛県西予市西予市城川町 魚成川(黒瀬川の支流)



大洲 城川町魚成 宇治橋付近  
(7月22日調査)



赤破線: 最大浸水範囲  
赤矢印: 推定流向  
赤丸: 浸水深  
番号+青矢印: 写真番号+カメラ向き

- 写真番号10奥に見える道路は100cmなくなっていた
- 写真番号5では家が流され、屋根だけが残っていた
- 写真番号09の民家を氾濫した水が通り写真番号10の鉄柵から河道に戻る

写真01 宇治橋横右岸



写真02 宇治橋上流左岸



写真03 宇治橋上流左岸



写真04 宇治橋上流左岸 地蔵跡



写真05 宇治橋横左岸 民家跡



写真06 宇治橋下流右岸



写真07 宇治橋横右岸 民家



写真08 宇治橋横右岸 民家



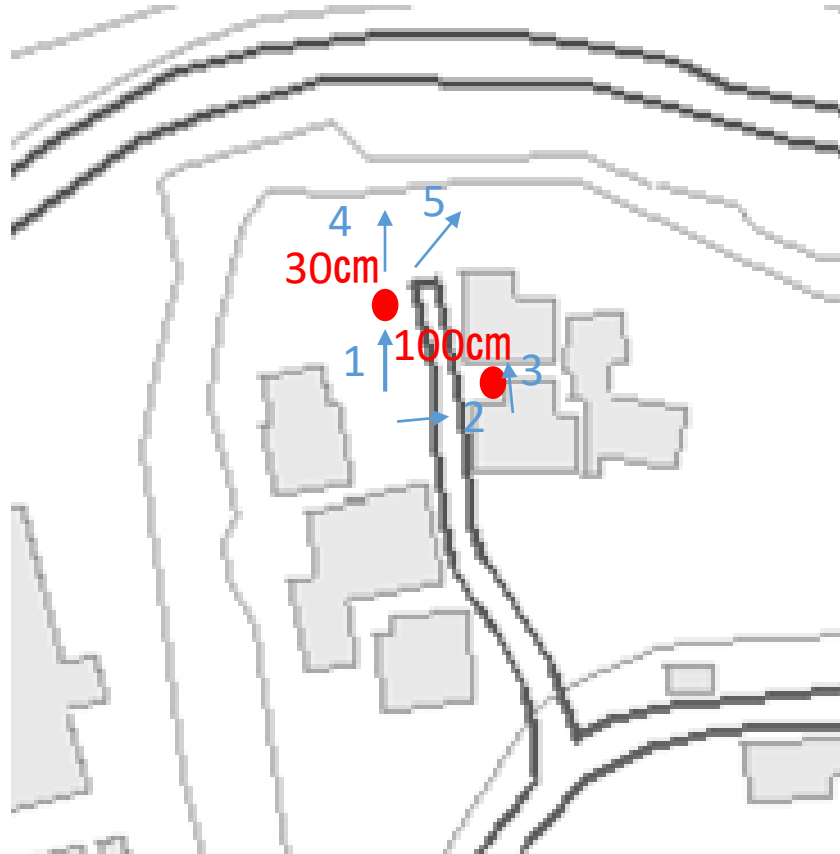
写真09 宇治橋横右岸 民家



写真10 宇治橋横右岸



大洲 城川町魚成 宇治橋付近  
(7月22日調査)



赤破線:最大浸水範囲  
赤矢印:推定流向  
赤丸:浸水深  
番号+青矢印:写真番号+カメラ向き

- 写真番号4では橋が流されていた
- サイレンなどは全く聞こえなかった. 周りの住人も避難等に行っていない(住民談)
- 20年前, 90cm浸水したときに144cmの擁壁ができた, そのためこの擁壁を水が超えるとは思っていなかった(住民談)
- 144cmの擁壁の下端から上端まで水位が上がるのにかかった時間は約10分. その時に道路(写真5)が崩れた(住民談)

写真01 民家宅



写真02 民家



写真03 民家



写真04 魚成川橋跡



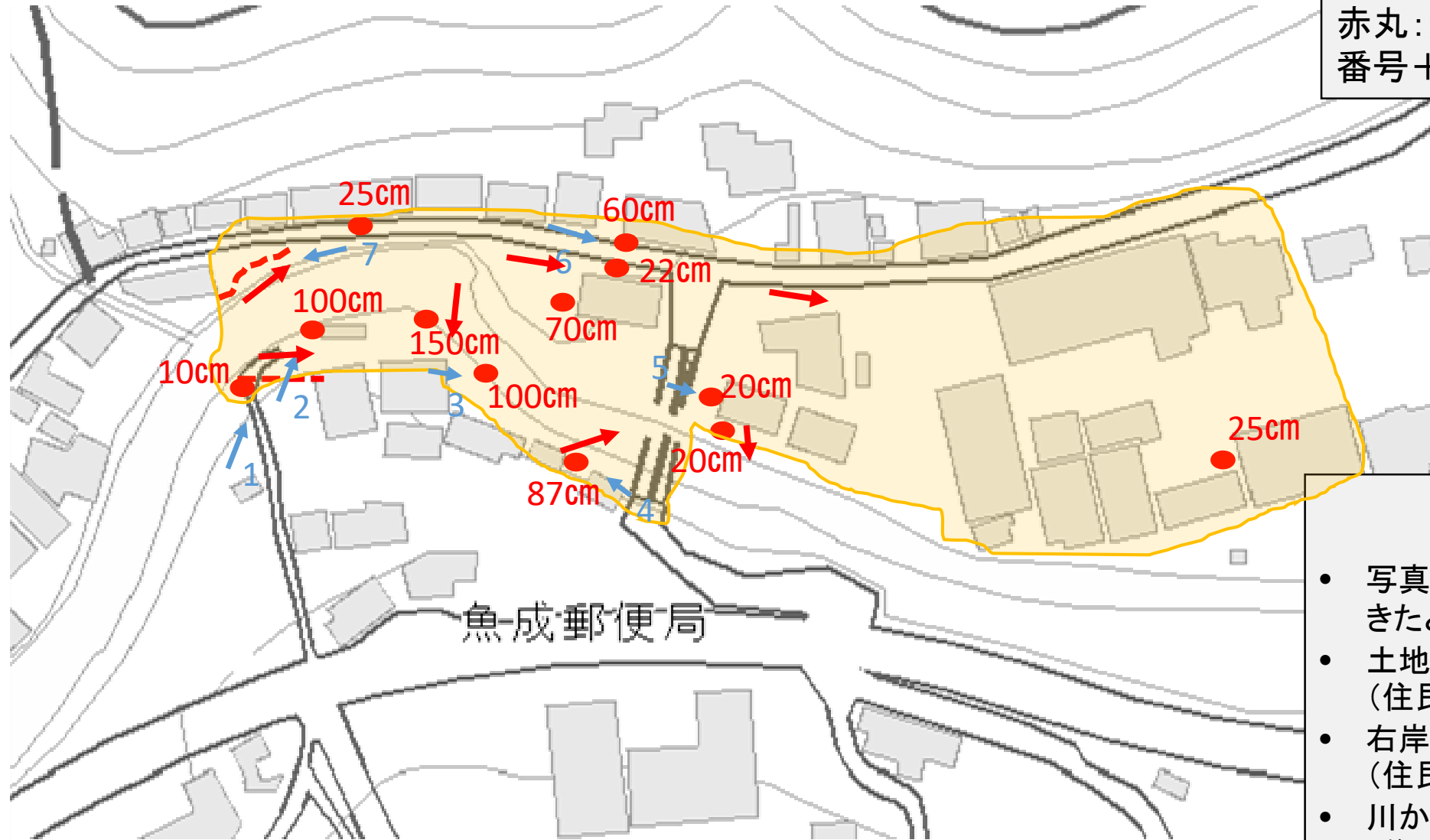
写真05 魚成川左岸側道路





大洲 城川町魚成 中川原橋付近  
(7月22日調査)

赤破線: 最大浸水範囲  
赤矢印: 推定流向  
赤丸: 浸水深  
番号+青矢印: 写真番号+カメラ向き



- 写真番号1のスタッフ付近から水が入ってきたと考えられる
- 土地の低い右岸側から浸水し始めた。(住民談)
- 右岸側は橋の手前で川に水が戻っていた(住民談)
- 川からだけでなく山からも水が流れてきた(住民談)

写真01 中川原橋上流側 右岸



写真02 中川原橋上流側 右岸



写真03 中川原橋上流側 右岸



写真04 中川原橋横 右岸



写真05 中川原橋横 左岸



写真06 中川原橋上流側 左岸



写真07 中川原橋上流側 左岸



写真07 中川原橋上流側 左岸  
上流方面



上の写真に写っている  
橋脚に乗っていた橋げた  
は下の写真の橋の下流側  
まで流されていた。

下流方面



上の写真の川の中にある  
橋げたは、さらに上流の  
橋が流されてきたらしい。